

「う・ら・ら」運賃の見直しについて(討議)

近年、人件費や燃料費の高騰により、町運行バス「う・ら・ら」の運行委託費が増加しており、今後も増加が見込まれている。この状況を受け、「う・ら・ら」を持続可能な公共交通とし、安定した運行を確保するためには、利用者に適正な受益者負担を求める必要があることから、運賃の見直しを検討している。

1 運行の概要

(1) 路線・運行便数

5路線

- C 長寿線 (18便)
- K 刈谷線 (14便)
- F 藤江線 (15便)
- S 新田線 (19便)
- H 高校線 (6便)

(2) 利用者数

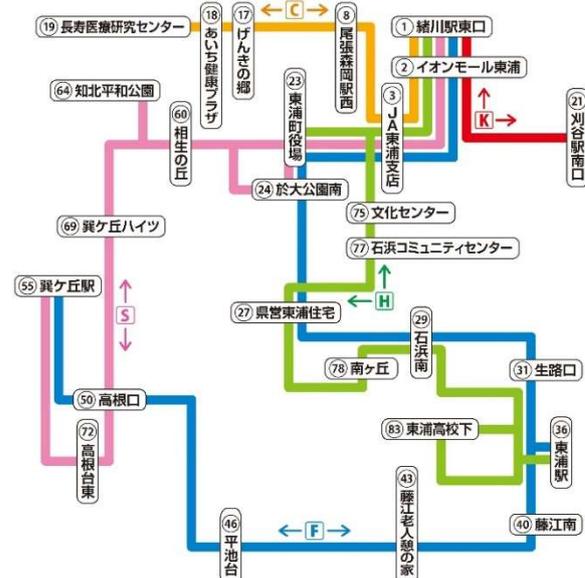
253,152 人 (2024 年度)

(3) 運賃体系

1 乗車 100 円 (※乗継割引あり)

定期券 (1 か月あたり) 大人 2,000 円 中学生 1,000 円 小学生 500 円

回数券 1,000 円 (11 枚綴り)



本運賃体系は、地域住民が安心して利用できる公共交通を目指して設定している。1乗車あたりの運賃は100円であり、移動を日常的に利用しやすいリーズナブルな価格となっている。また、乗継割引制度を導入することで、複数路線を利用する利用者の負担軽減を図っている。

定期券は、利用者の年齢区分ごとに月額金額を設定している。この仕組みにより、特に通勤や通学などで毎日利用する必要がある利用者が、日々の乗車券購入よりも経済的に利用できるようにしている。例えば、毎日往復100円で利用した場合と比較して、定期券を利用することで、半額程度の負担で済む。このように、利用頻度に関係なく公平で利用しやすい料金体系を実現している。

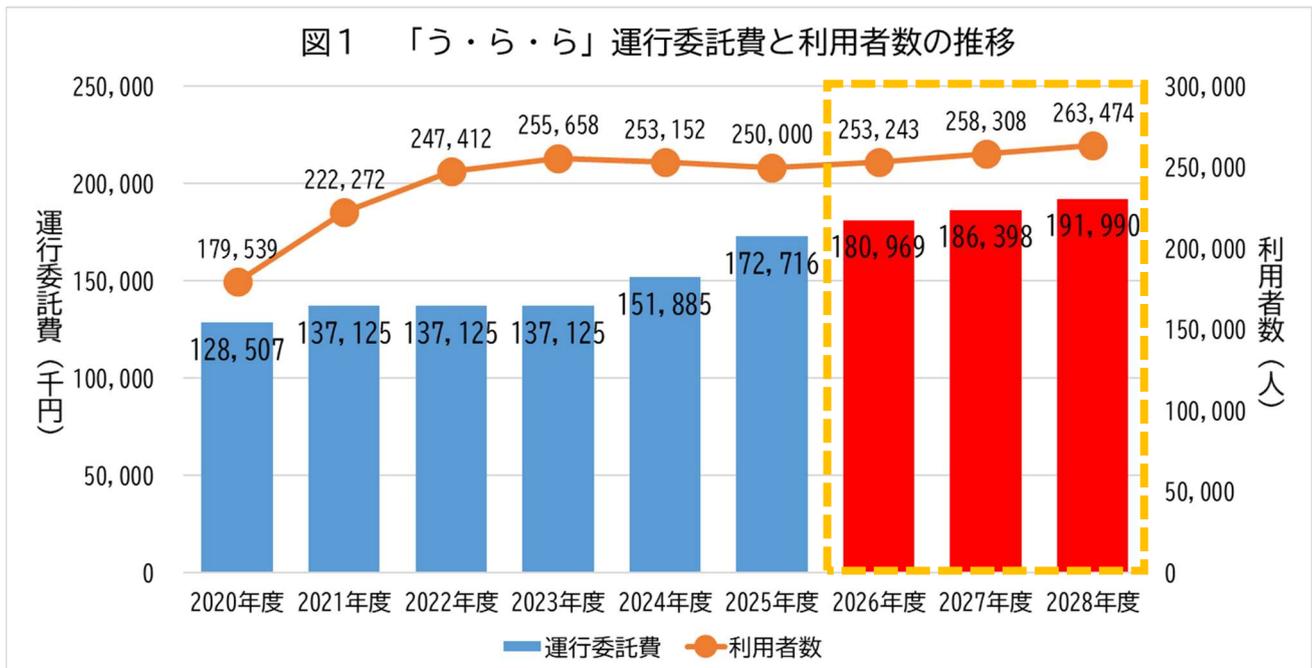
また、回数券は11枚綴りで1,000円とし、不定期利用者にも経済的な選択肢を提供している。

2 運行委託費の推移と見通し

2020年度から2025年度にかけて、バス運行委託費は増加傾向にある。2020年度の委託費は128,507千円で始まり、2021年度には137,125千円へ7%の増加を示した。この増加はダイヤ改正に伴う契約内容の見直しによるものである。その後、2021年度から2023年度にかけては長期継続契約によって委託費が固定され、安定した推移を見せた。

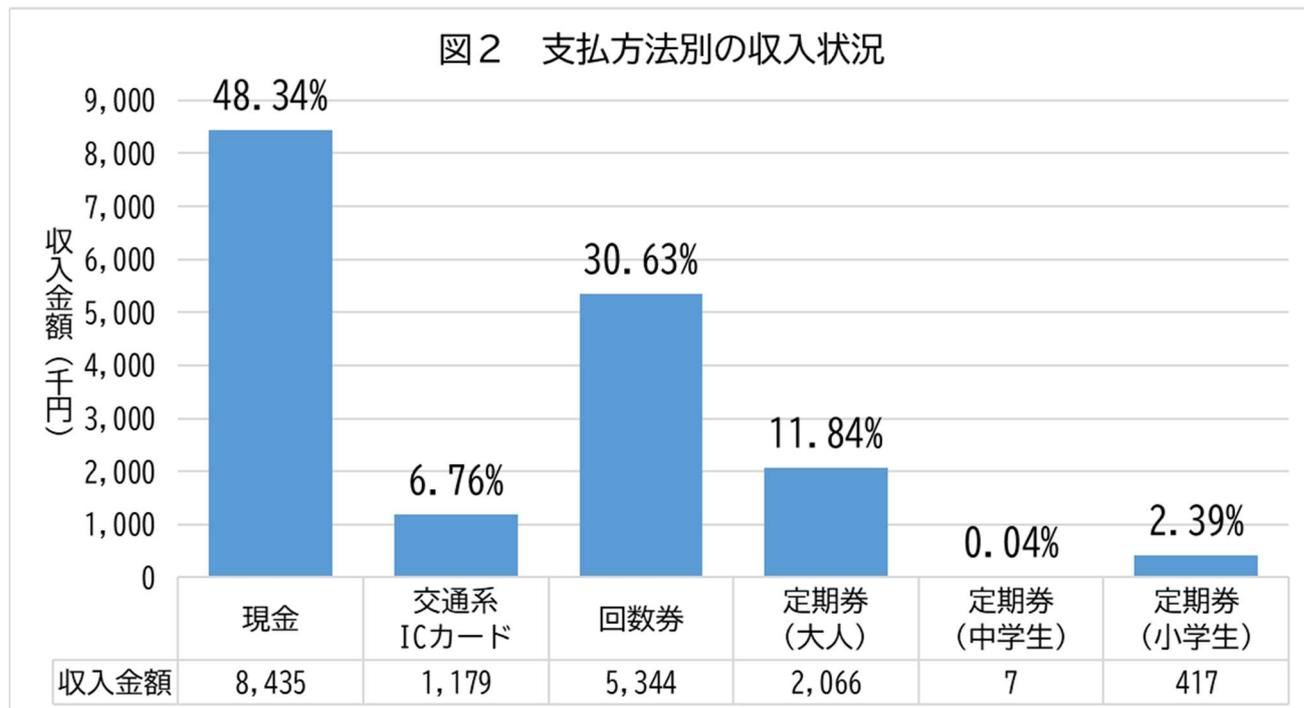
2024年度には契約満了後、ダイヤ改正に伴う見直しが行われ、費用が151,885千円に達し、増加率は11%となった。この大幅な増加は物価上昇、燃料費の増加、人件費の高騰が主な要因とみられる。さらに、2025年度には158,108千円となり、増加率は4%に抑制されたものの、委託費は引き続き増加傾向を維持している。2020年度を基準にすると、2025年度までの5年間で委託費は約23%増加した。

これらの変動は契約更新時における金額の見直しや、社会的コストの変化が反映された結果である。課題としては、委託費の増加を抑制しつつ、公共交通サービスの品質を維持・向上させることが挙げられる。

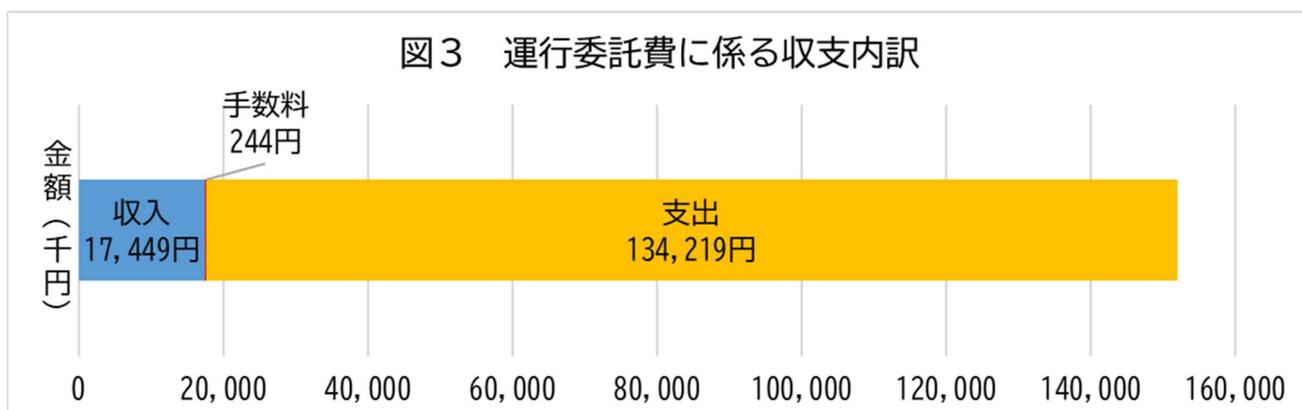


2 2024年度の収支状況

図2では、支払方法別の収入状況が示されており、年間収入額は合計で17,449千円となっている。その中でも最も大きな割合を占めるのが現金で、総収入の48.34%（8,435千円）を占めており、次いで回数券が30.63%（5,344千円）、定期券（大人）が11.84%（2,066千円）となっている。一方、交通系ICカードの収入割合は6.76%（1,179千円）、定期券（中学生）は0.04%（7千円）、定期券（小学生）は2.39%（417千円）と比較的収益が小さい。



これに対して、年間の支払い委託料は約134,219千円となっており、収入金額では到底賄えず、国庫補助がなければ運営が成り立たない構造となっている。



また、**収入率は11.49%**と非常に低く、**営業係数は861円**となっていて、運営費用に対して収入が著しく不足している状態である。また、**利用者1人あたりの負担額が530円/年**に対して、**住民1人あたりの負担額は2,694円/年**となっており、利用者以外の住民の税負担が大きい構造が浮き彫りになっている。地域全体で公共交通を支える状況とはいえ、負担の公平性や運営の効率性が課題となっている。

表1 各種手数料

項目	金額
事務手数料 (収入)	196,855
ICカード手数料 (支出)	47,176

表2 2024年度における収支状況

関連指標	収支状況
収入率	11.49%
営業係数	861円
利用者1人あたりの負担額	530円/年
住民1人あたりの負担額	2,694円/年

3 運賃見直し案

使用料算出基準を参考に、本町では**130円～300円**の範囲で検討を進める。

分類	施設種類	受益者負担割合
I	住民生活に不可欠で民間で提供が難しいもの、法令等で無料とされている施設（公園、図書館、児童館、老人憩の家など）	0%
II	住民生活に不可欠で主として行政が提供するが、民間にもある施設（保育園、町営住宅など）	50%
III	住民生活を快適にするもので、民間では広く住民に提供することが期待できない施設（各施設の貸館、グラウンド、学校開放など）	50%
IV	住民生活を快適にするもので、民間でも提供可能な施設（テニスコート、バーベキュー 広場など）	100%

「使用料、手数料見直し基準」から抜粋。

(参考：近隣自治体の運賃)

半田市	常滑市	刈谷市	東海市	大府市	知多市	知立市	高浜市	阿久比町	武豊町	美浜町	南知多町
100円 (200円)	200円 (2026.12~)	200円 (2026.2~)	100円	100円	100円	100円	200円	無料	100円	無料	400円

(参考：近隣自治体の収支率)

自治体名	運行経費	運賃収入	利益	収支率	自治体名	運行経費	運賃収入	利益	収支率
東浦町	151,886	17,646	-134,240	11.6%	知立市	129,613	11,269	-118,344	8.7%
半田市	126,936	12,329	-114,607	9.7%	高浜市	18,251	235	-18,015	1.3%
常滑市	241,960	0	-241,960	0.0%	阿久比町	33,778	0	-33,778	0.0%
刈谷市	402,957	0	-402,957	0.0%	武豊町	38,033	2,517	-35,516	6.6%
東海市	232,749	24,919	-207,830	10.7%	美浜町	29,738	0	-29,738	0.0%
大府市	189,558	9,320	-180,238	4.9%	南知多町	133,653	54,907	-78,746	41.1%
知多市	80,777	5,644	-75,133	7.0%					

※色付け部分は無償運行。

